

# スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介

プラットフォーム名: (令和5年6月時点)

令和4年度開始～令和8年度終了予定



HSFC<エイチフォース>

北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク

## 参画機関

主幹機関:北海道大学 共同機関:小樽商科大学、室蘭工業大学、北見工業大学、公立はこだて未来大学、北海道情報大学、苫小牧工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道科学技術総合振興センター

幹事自治体:札幌市、江別市、帯広市、函館市、北海道 協力機関:旭川医科大学、帯広畜産大学、北海道教育大学、札幌医科大学、札幌市立大学、公立千歳科学技術大学、藤女子大学、北海道科学大学、酪農学園大学、釧路工業高等専門学校、中小企業基盤整備機構北海道本部、産業技術総合研究所北海道センター、北海道立総合研究機構、あずさ監査法人、北海道経済連合会、三井住友銀行、北洋銀行、北海道ベンチャーキャピタル、D2 Garage、DEMOLA Global Oy、丸刈池内、SCSK北海道株式会社

## 目指すスタートアップ・エコシステム

労働人口の減少が加速するなど「課題先進地域」である北海道を、スタートアップ創出とためのエコシステム形成によって「課題解決先進地域」へと変革させる。大学・高専が輩出する優秀な人材の流出を防ぎ、地域に新しい産業構造の構築を目指す。令和8年度までのスタートアップ創出目標数は135社である。



### (1) 起業活動支援プログラムの運営

- ・創出するベンチャー像を3つに明確化し、支援・育成を加速する。
  - ①世界市場を目指すDEEP TECH型ベンチャー
  - ②国内市場を中心とした研究成果実装・地域課題解決型ベンチャー
  - ③ソーシャルビジネス・学生ベンチャー
- ・GAPファンドについて令和5年度から令和8年度までは、令和4年度の実績や本プログラム以外での資金調達状況を踏まえ、適当数の単価及び採択予定数を設定する。
- ・事業化支援のための新プログラムを導入し、事業化の加速を目指す。
  - ▶公募前研修プログラムの実施
  - ▶採択後の標準化プログラム・個別メンタリング・VCマッチング等

### (2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- ・主幹機関である北海道大学を中心としたアントレプレナーシップ醸成とその発揮を目指した新プログラムを構想し、実装を進める。
  - ▶学校祭を活用した起業プログラム(北大・小樽商科大が連携し、参画機関へ展開)
  - ▶小中高生向けアントレプレナー教育の実施
  - ▶事業化ノウハウ指導プログラム(北大)等
- ・アントレプレナーシップ人材育成プログラムを、6,500人/年以上が受講することができる体制を整備する。
- ・共同機関・協力機関との連携プログラムも新規・継続強化を行う。
  - ▶新入生オリエンテーションアントレプレナー教育(北大・小樽商科大)
  - ▶オープンバッジ導入によるスキル・マインドの証明を行う等。

### (3) 起業環境の整備

- ・広域に点在するプラットフォームのハブHX(エイチクロス)を中心にネットワーク強化を行うための拠点整備を進める。
  - ▶音更町サテライト(小樽商科大・帯広市)
  - ▶KOSENコモンズ函館(函館高専・函館市)
  - ▶交流サロンテクノスペース(情報大・江別市)
  - ▶C-Base(苫小牧高専・苫小牧市)等
- ・拠点都市内のインキュベーション施設との連携を強化する。



### (4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

- ・拠点都市が進める他のビジネスカンファレンス等とプラットフォームの取組を接続し、ネットワークの強化とスタートアップ創出の契機を拡大させる。
  - ▶日本版SXSWを目指す「NoMaps」(札幌市)との連携
- ・経営者・VC等とのミートアップの実施
- ・都市を舞台とした実証実験・展示
- ・ピッチコンテストの開催とその後のメンタリング等



## 活動成果

- ・アントレプレナーシップ人材育成プログラム数:26件
- ・プログラム受講者数:1,359名
- ・エコシステム形成イベント開催数:6回
- ・エコシステム形成イベント参加者数:733名



# スタートアップ・エコシステム形成支援 プラットフォーム紹介

令和3年度補正予算による支援

令和4年度開始～令和4年度末 終了



プラットフォーム名: (令和5年6月時点)

HSFC<エイチフオース>

北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク

## 参画機関

主幹機関:北海道大学 共同機関:小樽商科大学、室蘭工業大学、北見工業大学、公立ほこだて未来大学、北海道情報大学、苫小牧工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道科学技術総合振興センター

幹事自治体:札幌市、江別市、帯広市、函館市、北海道 協力機関:旭川医科大学、帯広畜産大学、北海道教育大学、札幌医科大学、札幌市立大学、公立千歳科学技術大学、藤女子大学、北海道科学大学、酪農学園大学、旭川工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、中小企業基盤整備機構北海道本部、産業技術総合研究所北海道センター、北海道立総合研究機構、あずさ監査法人、北海道経済連合会、三井住友銀行、北洋銀行、北海道ベンチャーキャピタル、D2 Garage、DEMOLA Global Oy、丸三池内

## 目指すスタートアップ・エコシステム

労働人口の減少が加速するなど「課題先進地域」である北海道を、スタートアップ創出とそのためエコシステム形成によって「課題解決先進地域」へと変革させる。大学・高専が輩出する優秀な人材の流出を防ぎ、地域に新しい産業構造の構築を目指す。令和8年度までのスタートアップ創出目標数は135社(令和4年度末までに推進する一連のプログラムにより10社程度)。



## (1) 起業活動支援プログラムの運営

- ・創出するベンチャー像を3つに明確化することで、支援と育成を加速する体制を構築する。
  - ①世界市場を目指すDEEP TECH型ベンチャー
  - ②国内市場を中心とした研究成果実装・地域課題解決型ベンチャー
  - ③ソーシャルビジネス・学生ベンチャー
- ・令和4年度GAPファンドでは①②枠にて25件程度の採択を予定している。
- ・シーズの掘り起こしから、最終成果発表までのプロセスにおいて新プログラムを導入し、事業化の加速を目指す。
  - ▶公募前研修プログラムの実施・採択後の標準化プログラム・個別メンタリング・VCマッチング等

## (2) 起業環境の整備

- ・広域に点在するプラットフォーム参画機関のハブとなる拠点施設、HX<エイチクロス>を中心として、更なるネットワークの強化を行うための拠点整備を進める。
- ・新たな拠点として2カ所を追加整備し、交流を活性化させる。
  - ▶音更町サテライト(小樽商科大・帯広市)▶KOSEN commons 函館(函館高専・函館市)
- ・現状施設における環境整備の追加も実施する。
  - ▶交流サロンテクノスペース(北海道情報大・江別市)▶C-Base(苫小牧高専・苫小牧市)



## 活動成果

- ・ GAPファンド応募件数:26件中、17件採択
- ・ Demoday参加者:245名、内VC等投資家57名
- ・ 創出されたスタートアップ企業数:2件
- ・ 整備された起業環境の利用人数:1,686名

